＊抗原検査ご協力のお願い

2021 年 4 月（2022 年 3 月改定）　木風舎

木風舎では従来の対策に加えて、**実施前に全員の方に、Covid-19 抗原検査へのご協力をお願い**することにいたしました。

事前に検査キットをお送りして、前夜または当日朝に検査していただき、結果の写真をスマホなどの携帯電話でご持参いただきます。

検査キット単価の**半額以上を木風舎で負担**いたしますので、誠に恐れ入りますが皆様にも、検査費用の一部の **1,100 円**（税・送料込み）**のご負担をお願い**できますでしょうか？

検査は確定診断ではありませんので、**陰性でも引き続きマスクや手指消毒、ディスタンスなどの感染症対策**が必要です。

しかし**リスクを少しでも減らすことができるのなら、できることはすべてやってゆきたい**と思いますので、皆様のご協力を、どうか何とぞよろしくお願い申し上げます。

【抗原検査につきまして】

ウィルスを検出する手段として、PCR 検査と、抗原検査があります。

PCR 検査は、検体中のウィルスを特徴づける遺伝子を検出するものです。

抗原検査は、検体中のウィルスを特徴づけるタンパク質を検出するものです。

抗原検査は、検出にある程度の量のウィルスを必要とするため、PCR 検査に比べて検査の精度が劣るとされています。

しかし

- PCR 検査は検査時点（民間の送付型検査を利用する場合、多くは数日前）の状態がわかるのに対し、その場で結果が出る抗原検査は「今」の状態がわかる。
- 費用が安く、方法が簡便。
- その場で結果が出るので、検査体制への負荷がない。

というメリットもあり、最近のキットは精度も上がってきたため、さまざまな場での活用が始まっています。

抗原検査は、ウィルスの排出量が少ないと検出しにくいため、潜伏期の感染者の特定や、陰性確認には向きません。

（PCR 検査でさえ、感染初期にはすり抜けて陰性と出て、数日後に症状が出てから再検査すると陽性となる例が多々あります）

しかし、参加される方の中に意図せずしてウィルスを排出している方がいらっしゃる**可能性を、検査をしないよりはずっと低くする**ことはできます。

「抗原検査は感染性のある時期においては十分な感度を有するという知見が集まりつつあります。」(国立国際医療研究センター・忽那賢志 国際感染症対策室医長(当時)、Yahoo！ニュースの署名記事より)

市販されている抗原検査キットの精度は、製品によってかなりピンキリです。

木風舎で今使用しているキットは、基本的に厚労省により医療用として承認されたもので、PCR 検査との一致率 98%という、大変精度の高いデータが示されています。ただ検査機器のひっ迫状況によっては、医療に使用されることを優先するため、ＥＵ諸国で医療用として承認されている製品を使用する場合もあります。

ワクチン接種とも合わせて（体質的にワクチンを打てない方もいらっしゃるため、ワクチン接種を参加要件にはしておりませんが、実際には 2 回目まではほぼ 100%に近く、3 回目接種済みの方もほとんどという状況です)、基本的な対策の実行 ＋ ワクチン ＋ 検査 の三重のガードで、**安全性は相当に高くなる**と思います。

ただ、安全性が相当に高くなっても 100%ではありませんので、ここで大切なことは、検査結果が**陰性判定でも、引き続き**別紙のご案内にあります基本的な感染症対策を、まだしばらくの間は、**どうか続けて**いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

（そこで緩んでしまっては、検査が逆効果になってしまいます。ここが大切なところです）

ガイドの仕事の第一は、皆様の安全を守ること。

ここまでやれば安心だと思える、現状で最善と思われる環境をつくることを、皆様の安全のために、目指したいと思います。

どうかご協力をお願い申し上げます。

※このお願いを作成するにあたり、今まさに新型コロナウィルス感染症の現場で闘ってらっしゃる医療の専門家の皆様に、多くの貴重なアドバイスをいただきました。お忙しい中、親身に監修してくださいました皆様に、この場をお借りして心からお礼申し上げます。

そしてまた、今も奮闘してらっしゃる全国の医療関係者の皆様に、心から感謝の意を表したいと思います。ありがとうございます。